

爲先故也。

〔三中口傳〕四院御幸御裝束事

神社御幸之外尋常之儀皆御直衣也。

〔飾抄中〕細尻鞞事

或書曰布衣騎馬殊刷時御幸已下執柄宇治供奉若親姓之人如公卿勅使相伴時帶野劔或虎皮細尻鞞

〔飾抄中〕藁深履

保安五、二十兩院○白河鳥羽雪見御幸新院御烏帽子直衣出衣藁深沓有華氈

〔貴嶺問答〕明日依待賢門院御國忌可有御幸法金剛院而堀川橋右京職可令亘歟將使廳沙汰歟依不審所尋申也謹言

八月廿一日

御幸橋事近年京職沙汰也或又使廳點堀川材木令渡之抑營繕令曰京內大橋及宮城門前橋者謂

二門前並木工寮修營自餘役京內人夫謂以雜者爲御不審注進之恐々謹言

八月廿一日

〔愚管抄二〕此御時院中に上下の北面をおかれて上は諸大夫下は衛府允多く候て下北面御幸御後には矢負てつかまつりけり後にも皆其例なり

〔續百一錄〕延享四年六月十一日今出川家ヨリ觸來ル

一御幸行啓人留之節案内之二番走リ已後者御通り之儀警固之者差留可申候家來下部等往來勿論差留可申併御幸行啓ニ付被參或者御用ニ付被參之旨被斷稱號を承届通し可申候御通り懸之内三番走リニ相成候はゞ警固之者其旨を可申候其上御障ニ不相成候様御進退可有之儀